

早稲田商学第 465 号
2023 年 6 月

消 息

武井 寿先生を偲んで

多くの教職員、学生・卒業生が敬愛してやまない、武井 寿先生が昨年 12 月 9 日に逝去されました。享年 68 歳でした。ここに、お別れの言葉を捧げ、武井先生のご冥福をお祈りすることにいたします。

武井先生は、1976 年 3 月早稲田大学商学部をご卒業後、引き続き大学院商学研究科博士前期課程に進まれました。1981 年 3 月同博士後期課程を満期退学されると同時に、大分大学経済学部にて専任講師として着任され、1983 年 4 月助教授に昇任されました。その後、1989 年 4 月神奈川大学経営学部にて転じられ助教授として嘱任され、1992 年 4 月教授に昇任されました。早稲田大学商学部には 1993 年 4 月助教授として着任され、1995 年 4 月教授に昇任されました。早稲田大学における在職期間は 29 年 8 か月の長きにわたり、これまでの研究および教育への功績により本年 4 月 1 日付で名誉教授号が追贈されました。この間、1996 年 2 月には『解釈的マーケティング研究：マーケティングにおける「意味」の基礎理論的研究』によって早稲田大学から博士（商学）の学位を取得されました。

先生は学部および大学院を通じて宇野政雄先生のゼミで学ばれ、マーケティングの理論研究を専門とされていました。とくに、人びとの消費行動や消費生活、企業のマーケティング活動を哲学的に研究する特色ある領域を対象とされました。2012 年 4 月から 2014 年 3 月まで日本商品学会会長を務められ、学界を牽引する立場にもありました。なお、武井先生の研究教育面における業績や功績の詳細については、嶋村和恵先生による消息をご参照ください。

武井先生は多くの教職員、学生から慕われる方でした。とくに学生に対する教育には情熱を傾けておられました。先生ご担当の「マーケティング論」や「流通論」は多くの学生を魅了し、「マーケティング基礎理論研究」は学部有数の人気ゼミでした。ゼミの紹介には、「コツコツと学ぶ」であるとか「先生とゼミ生がテーマを掘り下げて研究する」と記されています。先生と身近で接していると、これらはまさに武井先生の常日頃

の姿勢そのものであったといえます。また、毎学期末には一人暮らしのゼミ生のことを慮ってレトルト食品などを配っていたという話を風聞したこともあります。先生のもとで学ぶことができた学生は幸せであったろうと推察します。

学内にあっては、1996年9月から1998年9月まで椿弘次学部長のもとで教務担当教務副主任、2008年9月から2010年9月まで嶋村紘輝商学研究科長のもとで教務主任、2010年9月から2012年9月まで産業経営研究所長、2014年6月から2022年6月まで大学評議員（2期）を歴任されました。慎重かつ公平に学部や研究科の運営に当たられた椿先生、嶋村先生とは考えが共通のところがあリ、両先生からの信頼は絶大でした。武井先生が商学研究科教務主任の間、私は学部の教務担当教務主任でした。カリキュラム委員会をはじめとする会議体で一緒に過ごす機会に恵まれましたが、先生の仕事ぶりは「コツコツ」がふさわしく、とても真面目な先輩であると実感しました。椿先生や嶋村先生が信頼を寄せられたのも、先生の「コツコツ」ぶりと思慮深さにあったのだらうと考えています。先生はメモ魔としても知られ、会議における意見を正確に記述されていました。これは8年間の大学評議員時代も同じで、学術院教授会では評議員会報告が定例で行われるのですが、先生のメモにもとづく報告は臨場感溢れるものでした。このような先生ですが、普段の会話の中では何気なく発せられた一言が面白く、かつ真面目な顔で話されるため、そのギャップがいまでも印象に残っています。

先生はコロナ禍にあって体調を崩されました。オンライン授業への対応を余儀なくされましたが、人気の授業ゆえに受講者数が多く、それに比例してご負担も大きかったものと思われます。ご家族から、授業やゼミを休んでしまい、学生に申し訳ない旨の先生のお気持ちが伝えられましたが、どこまでも学生思いの先生でした。しばしの静養のうちに再び教壇に立たれるものとお待ちしていましたが、もはや先生と接することができないと思うと寂しさのみがこみ上げてきます。

これからも、先生との触れ合いや思い出は多くの教職員、学生・卒業生の心の中に残ることでしょう。武井先生、長年にわたって早稲田大学とりわけ商学部の発展にご尽力いただき、ありがとうございます。改めてご冥福をお祈りいたします。

早稲田商学同攻会会長
早稲田大学商学部長
横山 将義